

星のたより

2025(令和7)年
3月号
Vol. 366

友の会会員募集

～一緒に星空を楽しみましょう～

さじアストロパーク友の会は、星の知識の有無に関係なく、楽しく天体や宇宙を眺めたい人たちが集い、会員相互の親睦をはかることができる会をめざしています。対象は、18歳以上で星に興味があり（知識不要）、さじアストロパークの事業に参加・協力、または応援をしていただける方です。入会は随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。



(QRコード→)

特典：

- ①会員証の提示で、佐治天文台の入館料が無料になる（同伴5人まで）。
- ②会員証の提示で、例会時の観望料やプラネタリウムが無料になる（同伴5人まで）。
- ③プラネタリウム招待券が年4回送付される。
- ④鳥取市さじアストロパークの機関誌「星のたより」や、その他の発行物が毎月送付される。
- ⑤小型望遠鏡1台を最大1ヵ月、レンタルできる（限定5台）。



☆今月の豆知識☆
 (す) きな星と聞いて、みんなどんな星を思い浮かべるかなあ。「土星」と答える人が多いかもしれないね。目では点にしか見えないのに、望遠鏡で拡大して観察すると、環が見えるんだよね。でも、今年は土星の環が薄っぺらく見えてて、ちょっとがっかりするかもね。珍しい見え方なんだけど。



会費：事務手数料380円＋110円×翌3月までの月数（参考：4月入会の場合、1,700円）
申し込み月より翌3月末日まで有効です。

イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。
公式ホームページで最新情報をご確認ください

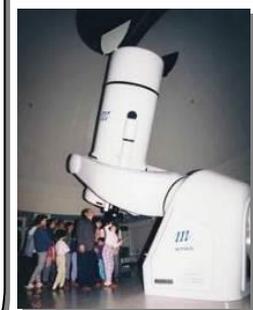
- ☆期間展示☆ 「アストロ宇宙写真展」3月16日(日)まで
天文職員が撮影した星や宇宙に関連した写真を解説付きで展示しています。
- ★人気投票実施中：1位になった作品に投票した方から抽選で5名様に宇宙に関するグッズをプレゼントします。
- 「第31回星景写真コンテスト入賞作品展」3月19日(水)～6月15日(日)
2024年度に応募した「星と風景がいっしょに写った写真」のコンテストで入賞した作品の展示です。

- ☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
第2部 テーマ番組「宇宙の疑問にズバリお答え3」 6月15日(日)まで
さじアストロパーク制作のオリジナル番組です。

☆夜間観望会☆ ☆3月のテーマとおすすめ情報

満天の星とふたご座の星団 M35	1日(土)		
月の撮影にチャレンジ	8日(土)		
おいぬ座の一等星シリウス	15日(土)		
満天の星とぎょしゃ座の散開星団 M37	22日(土)	M37	
かに座の星団 M67	29日(土)		M67
観望会で満天の星が楽しめる	1日(土)、2日(日)、19日(水)～30日(日)		
観望会で月がよく見える	5日(水)～9日(日)、12日(水)～14日(金)		

☆3月の休館日 3月(月)、4日(火)、10日(月)、11日(火)、17日(月)、18日(火)、21日(金)、24日(月)、25日(火)、31日(月)



※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

プラネタリウム & 天体観察会

～ 「星取県」で昼も夜も星空満喫 ～

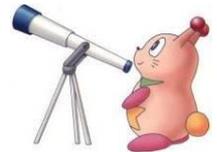
1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

前半は専門職員による当日夜の星空生解説、後半はテーマ番組投影の2部構成です。

後半のテーマ番組 宇宙の疑問にズバリお答え3

好評につき第3弾！今回は「星はどのくらいの温度なの？」について紹介します。※この作品は、さじアストロパークのオリジナル番組です。

投影期間：2月19日(水)～6月15日(日)



2. 103cm大型望遠鏡での夜間観望会 (天体観察会)

月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。土曜日は事前のご予約は不要です。平日及び日曜日のご利用については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約をおねがいします。

3月の星座と観察天体より

☆ おおいぬ座とシリウス

おおいぬ座は、狩人オリオンの猟犬として隣のこいぬ座とともに冬の星空で見られる星座です。目印は何といっても犬の口元で輝くシリウスです。シリウスは、ギリシャ時代に、犬にみたててこの星を「キオン（犬の星）」と呼んでいたことから、このあたりの星々でおおいぬ座となったようです。

シリウスは、星座を形作る星の中で最も明るい星で、明るさはマイナス1.5等星と一等星より数段明るいのです。シリウスの名は「やきこがすもの」という意味のギリシャ語「セイリオス」からきたもので、日の出直前にシリウスが東の空に見えるようになると、太陽とともに照らして暑い夏の季節をつくると考えられていたようです。古代エジプトでは、日の出の直前にシリウスが昇ってくるのを見て年の初めとするなど、シリウスは季節を知らせる大切な星でした。冬の星座の中でよく目立つ星ですが、今年は冬の星座の中にマイナス2等級とシリウスより明るい木星がいるので注意してください。



明るさ-1.5等星 距離8.6光年

3月の天文現象など

☆ 星座の中を移動する火星に注目

惑星が、星座の中を移動していくところを観察するチャンスです。2月にふたご座にいた火星ですが、少しずつですがふたご座から離れていき、4月にはお隣のかに座まで移動していきます。晴れた日には夜空をチェックしてみてください。火星ほど早くは移動しませんが、木星もゆっくりですがおうし座を離れてふたご座に近づいていきます。

火星と木星の移動のようすは3ページの図をご覧ください ▶

宇宙ふしぎ探検

～ いろんな天文ショー ～

天文現象や見ごろの天体をテーマにした特別な観察会「宇宙ふしぎ探検」。めずらしい天文現象などを取り上げて、説明会と観察会をセットにした内容で主に行います。令和7年度に予定している「宇宙ふしぎ探検」をご紹介します。

☆ペルセウス座流星群を見よう 8月12日(火)・13日(水) 各日 21:30~23:00

8月12~13日にかけて「ペルセウス座流星群」が見ごろとなります。今年は、月出が12日が21時2分、13日が21時32分で条件はよくありません。

※雨天曇天時は、流星群の説明や星座の紹介をします。



☆ふたご座流星群を見よう 12月14日(日) 19:30~21:00

毎年恒例の「ふたご座流星群」を観察します。午前2時半頃に月が出てきますので、それまでは条件良く見ることができます。寒い時期なので、冬用の防寒着でお越しください。

※雨天曇天時は、流星群の説明や星座の紹介をします。



☆冬の星座を観察しよう 2026年1月31日(土) 18:30~19:30

見ごろを迎えている冬の星座のを見つけ方を学び、実際の星空で探してみましょ。

鳥取市こども科学館で行います。雨天曇天時は星の話、そのあとに工作等を行います。

☆皆既月食を見よう 2026年3月3日(火)18:30~22:30

令和7年度には皆既月食が2回あります。1回目は2025年9月8日(月)で、2回目が3月3日(火)です。1回目の皆既月食は、時間帯が夜半から早朝にかけての現象ですが、3月3日の皆既月食は夕方から見ることができます。良い条件ですので、赤銅色の月、皆既中の満天の星空を見てみましょう。



※雨天曇天の場合は、会議室、プラネタリウム室で月食のお話や星座の紹介などを行います。

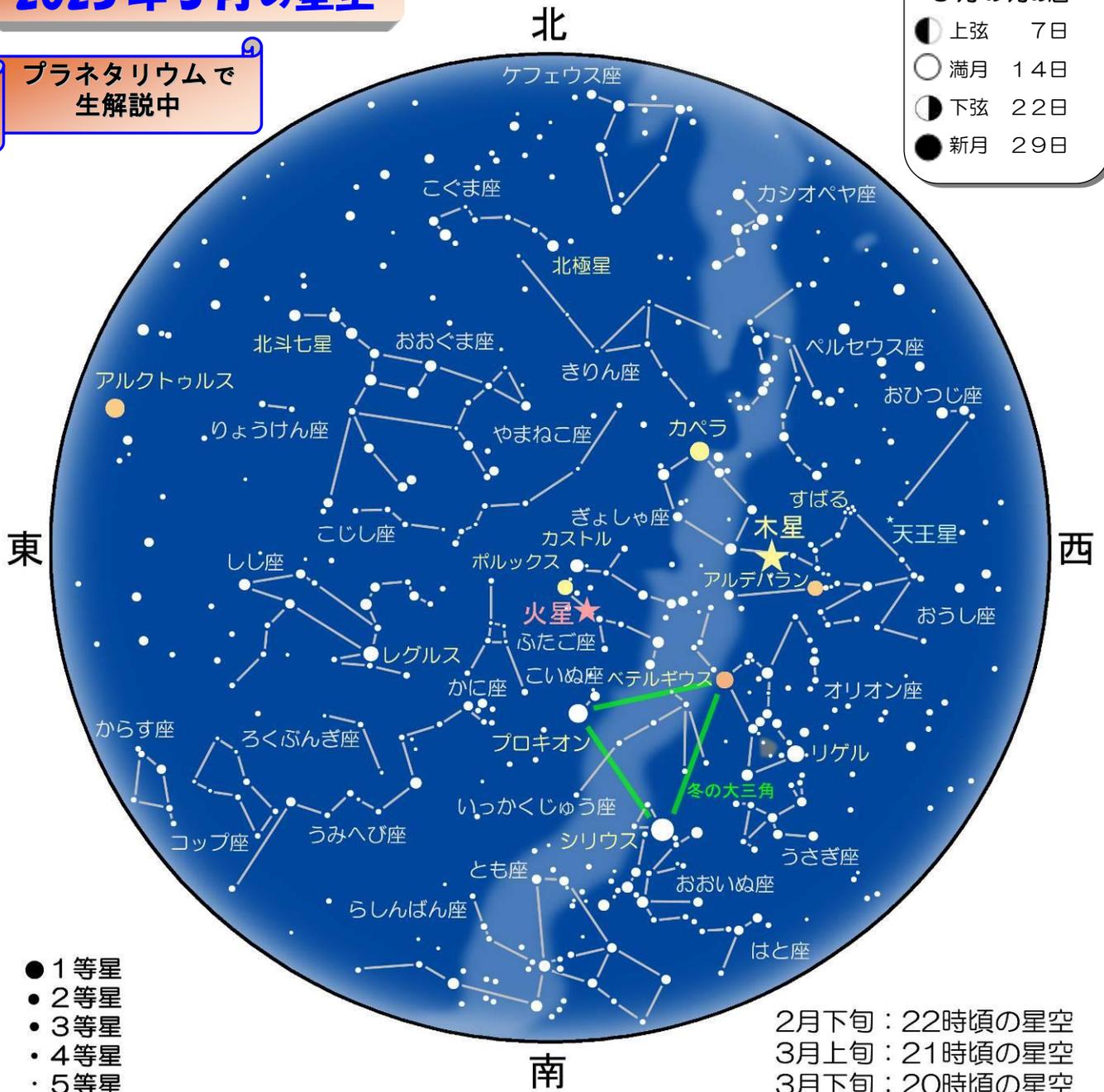
月の出	17時48分
食の始まり	18時50分・高度11度
皆既開始	20時4分・高度25度
食の最大	20時34分・食分1.15
皆既終了	21時3分・高度36度
月食終了	22時17分・高度49度

2025年3月の星空

3月の月の暦

- ☾ 上弦 7日
- ☽ 満月 14日
- ☾ 下弦 22日
- 新月 29日

プラネタリウムで
生解説中



☆3月になると、いよいよ「春」という気持ちになりますね。昼の時間が長くなり暖かい日も増えてきます。明るい星が多い冬の星空を参考に、春の星空めぐりも楽しみましょう。

☆南から西の空には冬の星たちが見えています。明るい星が多い冬の星空にあって、今年は木星と火星が明るく見えていて、いつもの年よりもさらににぎやかになっています。火星は1月中旬ごろに地球に接近して明るく見えていました。少しずつ地球から離れていますので、これからだんだんと明るさが控えめになってきます。東の空は春の星たちが昇ってきました。北斗七星を目印に、北極星を見つけてみましょう。南と東の間には、しし座の1等星レグルスが見えています。星占いに登場しますので星座は有名ですね。レグルスの方がライオンの胸のあたり、2等星デネボラがライオンのしっぽです。後ろ足を伸ばしてジャンプしているような姿を想像してみましょう。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観望会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp